

中井だよい

中井やまゆり園

素敵な景色を楽しみましょう

福祉子どもみらい局参事監 井上 一

雪が吹きすさぶ日があったかと思えば、一転ぽかぽかと暖かい日がやってきて、少しずつ春の季節に近づいてきているようです。私は令和6年1月4日に神奈川県福祉子どもみらい局参事監を拝命した井上一（いのうえはじめ）と申します。新たにみなさまのお仲間として迎えていただき、通常は中井やまゆり園で勤務をさせていただいています。

さて、天気ひとつをとっても従来の常識がなかなか通用しない時代に入ってきていると感じる一方、日本という国をとってみても大きな過渡期にあります。例えば2100年の我が国の人口の目標を8000万人とするべきという報道がありました。厚生労働省の試算によれば現在の1億2000万人の約半分である6300万人という数字が予測されていますので、我が国の人口を8000万人（＝現在の2/3）とするビジョンは少し寂しい思いもいたしますが、目標数値としては妥当といえるのかもしれませんが。

人口が減少していく局面は人類が初めて経験していくことでもあり、その最先端を日本が走っているということもできます。当然のことながら人口が減少することは押しなべてすべての社会機能がコンパクトになっていく必要があるということです。従来の社会システムの変更が必要になりますし、その最初のステージはすでに始まっています。

表現を変えれば、多様な人々が従来よりも少し積極的に地域を支えていくことが求められているということになります。中井やまゆり園はアクションプランや県立施設の方向性ビジョンなどに沿って改革が進んでまいります。園で生活する皆さんの意思決定をサポートさせていただきながら、多様な人々に園を支えていただくと同時に、皆さんで地域社会に出ていって、たくさんの仲間たちに出会っていただき、交流し、素敵な景色を楽しんでいただき、私たちができることから社会を支えていく活動を一緒にしていくようになります。

中井やまゆり園のそのような活動をご理解いただき、お支えいただくこと自体が新しい多様性を持つしなやかで強い社会、神奈川県が目指す「ともに生きる社会」の実現に大きく貢献していくことになると考えます。ともに力を合わせてまいりましょう。よろしく申し上げます。